

# オレンジ・ランプ

貫地谷しほり 和田正人  
伊寄充則 山田雅人 赤間麻里子 赤井英和 中尾ミエ  
監督:三原光尋 企画・脚本・プロデュース:山国秀幸 脚本:金杉弘子 音楽:宮崎道  
主題歌:THE CHARM PARK「セルフノート」 原作:山国秀幸「オレンジ・ランプ」(幻冬舎文庫)

39歳、パパが認知症!?

どうする、私!!

それは、温かな灯りが紡いだ感動の実話

若年性認知症と診断された丹野智文さんの実話をもとに描く、夫婦の希望と再生の物語。  
年齢を重ねていく全ての人へ、より良く生きるヒントがここにある。

製作:野中雅志 野村弘幸 依田英 今村俊昭 五老剛 プロデューサー:藤巻康宏 高瀬博行 アソシエイトプロデューサー:小川明日香 藤本忍人 企画協力:丹野智文 撮影:鈴木真一郎 照明:斉藤徹  
録音:西岡正巳 編集:宮島竜治 美術:津留啓亮 装飾:森浦彩賀 衣装:岩田友裕 テレ・マシヒロ メイク:伊藤里香 キャスティング:田山大悟 助監督:金子功 制作担当:遠藤祐輝  
Official Partner:太陽生命保険 特別協賛:湘南アイボータウン/ドラゴンコーン/ネットヨタ仙台/日本介護ケアシステム/県山会医療福祉グループ/ヤマシタネットワーク/在宅支援総合ケアサービス  
監修:厚生労働省 製作:「オレンジ・ランプ」製作委員会(ワンダラー/ネット/ヨタ/日本介護ケアシステム/県山会医療福祉グループ/ヤマシタネットワーク/在宅支援総合ケアサービス)  
©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会 www.orange-lamp.com



推薦:厚生労働省  
文部科学省選定作品

© 2022「オレンジ・ランプ」制作委員会

## 対談講演



丹野 智文さん

Profile

2013年アルツハイマー型認知症と診断され  
営業職から事務職に異動、現在もネットヨタ  
仙台に在職しながら講演など社会的理解を広める  
活動をしている。

10年前、認知症当事者のための物忘れ総合相談窓口「おれん  
じドア」を開設。著書に「丹野智文 笑顔で生きる」「認知症の  
私から見える社会」ほか



長野 敏宏 医師

Profile

御荘診療所 医師

1970年生まれ。1994年より精神科医として愛  
南町(旧御荘町)に関わりはじめ、1996年からは  
家族と生活しながら、認知症などの精神科医療に携わってきた。  
また、地域の有志と地域復興を目的としたNPO法人を立ち上  
げ、障害や年齢にかかわらず多くの力を農業、水産業、観光業  
などの産業にも関わり続けている。趣味は釣りや音楽、遊ぶこと。

とき 令和7年 3月20日 木祝

会場 パフィオうわじま1階ホール  
宇和島市鶴島町8-3

ご来場の際は、整理券をご持参ください。

お問い合わせ

本庁地域包括支援センター(宇和島市役所22番窓口)

TEL.0895-49-7019(直通) FAX.0895-24-1126



# オレンジ・ランプ映画上映会 & 対談講演 丹野智文さん×長野敏宏医師

午前の部

10:00~11:50(受付 9:30)

対談講演

12:00~13:00(受付11:50)

午後の部

13:30~15:20(受付13:00)

先着

240名

参加無料

※整理券配布

整理券の配布開始日

日時

令和7年2月10日(月)~

場所

宇和島市役所または各支所

実話をもとに描く、  
やさしさに満ちた  
希望と再生の物語

あなたの大切な人が認知症になったら？

Story

妻・真央や二人の娘と暮らす39歳の只野晃一は、充実した日々を送るカーディーラーのトップ営業マン。そんな彼に、顧客の名前を忘れるなどの異変が訪れる。下された診断は、「若天性アルツハイマー型認知症」。驚き、戸惑い、不安に押しつぶされていく晃一は、とうとう退社も決意する。心配のあまり何でもしてあげようとする真央。しかし、ある出会いがきっかけで二人の意識が変わる。「人生を諦めなくていい」と気づいた彼ら夫婦を取り巻く世界が変わっていく…。

### “貫地谷しほり×和田正人”で描く、 笑い涙の夫婦の9年間の軌跡

本作は、39歳で認知症と診断されながらも、働きながら講演活動を続けている丹野智文さんの実話に基づく物語。夫と共に前を向く真央役に、連続テレビ小説「ちりとてちん」のヒロイン役で知られ、ドラマ「大奥」ほか映画・ドラマ・舞台で活躍する貫地谷しほり。夫・晃一役に、映画「THE LEGEND & BUTTERFLY」、「Winny」など話題作への出演が続く和田正人。実力派俳優の二人が、晴れやかな感動を生み出す。

### 「認知症になったら人生終わり」なんかじゃない

介護の世界を描いて13万人以上の人々に感動を伝え続ける映画「ケアニン」シリーズ制作スタッフによる本作。タイトルには、“小さな灯でも、みんなで灯せば世界はこんなにも明るくなる”という願いが込められた。本人や家族が、認知症とどのように向き合えば笑顔で生きられるのか。認知症になっても安心して暮らせる社会とは？その一つの指標となり得る作品が誕生した。

### 企画協力：丹野智文さん

1974年、宮城県生まれ。ネットヨタ仙台に勤務。39歳のときに若天性アルツハイマー型認知症と診断される。診断後は営業職から事務職に異動し、勤務を続けながら、不安を持っているご本人のための「おれんじドア」実行委員会代表を務める。自らの経験を語る講演活動にも力を入れている。

「オレンジ・ランプ」とは  
認知症のシンボルカラーのオレンジと、みんなで灯せば世界を明るく照らすことのできるランプ。  
この二つを組み合わせ、認知症になっても暮らしやすい社会づくりの象徴となる願いを込めたタイトルです。

貫地谷しほり 和田正人  
伊崎充則 新井康弘 水木薫 平尾菜々花 安山夢子 井上拓哉 池田朱那 金子さやか 谷田部俊 日向丈 田口智也 鈴木武 金澤美穂  
山田雅人 堀田真三 赤間麻里子 赤井英和 / 中尾ミエ

©2022「オレンジ・ランプ」製作委員会

整理券を令和7年2月10日(月)から配布します。

配布場所 / 宇和島市役所・各支所

ご来場の際は、整理券をご持参ください。

予告編はコチラ↓

